

## 秋 山 之

小中高校の2学期が  
始まった。大学の講義  
再開はもう少し先だろ  
うか。夏休みに親元に  
戻り、久しぶりに実家  
の食事や古里の名物を  
味わった学生もいるだろう▼大  
学時代、長い休みの後は地方出  
身の仲間で持ち寄る「地元の味」  
が楽しみだった。北海道や静岡、  
福岡、佐賀。インターネットを使  
った手軽なお取り寄せはまだ一  
般的ではなかったから、珍しい  
菓子や名産で盛り上がった▼筆

者が群馬の名物として食べさせ  
たかったのが焼きまんじゅう。  
いくら説明しても「味を想像で  
きない」と言う友人たちを満足  
させようと、自分で焼く土産用  
のセットを買ってアパートに戻  
った▼だが、やり方がうまくな  
かったのだろう。店の味や食感  
を再現できず、反応はいま一つ。  
「地元で出来たてを食べるのが  
一番。群馬に来るべし」と強が  
った▼小麦の産地が育んだ名物  
なのは言うまでもないが、県内  
と県外の知名度の差が大きい。

県民の思い入れはとどまるとこ  
ろを知らず、みそだれの特徴的  
な風味を再現した菓子や飲み物  
などが次々と登場している。切  
り身魚も、と聞いて驚いた▼ア  
イデア満載の商品に共通するの  
は、面白く、楽しみながら地元  
の食文化を広めたいという願い  
だろうか。話題性も手伝って全  
国各地に発信されるといい。し  
ばらく会えずにいる友人に焼き  
まんじゅう風味のあれこれを送  
ってみようか。「コロナ後は群  
馬で味わって」と書き添えて。